## 令和7年度 長田小学校だより

# みんな実質いつばい



~みんなが楽しくなければ、学校ではない~

令和7年11月21日(金)

なかよく がまん強く たのしく 学校教育目標

第19号 文責:校長 真﨑 哲也

#### 諫早市立長田小学校 859-0312

諫早市西里町800番地

23-9010(職員室) 24-8267(校長室) 23-9059(FAX)

#### 電子メール

e-nagata@isahayasnet.ed.jp

#### Web サイト

https://www.isahayasnet.ed.jp/school/enagata/



ホームページには、毎日の 子どもの様子や学校からのお 知らせ、各種便り等を掲載し ています。ぜひ活用ください。

### 〈11月の生活目標〉

相手のことを考えて行動しよう。 ~人のいやがることを、言ったり したりしません。~

## ミニ美術館

(休館)

#### ~もち米の収穫~

5年生が先日、米作りの最 終段階である「脱穀」を行いま した。刈り取って、2週間ほど 天日干ししていた稲をコンバ インにかけて、籾(もみ)をこ ぎ落としました。中にはあちこ ちに落ちているもみの粒を手 で拾い上げている子もいまし た。このご時世、大変貴重な お米です。

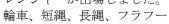
集めた籾を地域の中村精 米店さんにお願いし乾燥さ せ、もみすりをし、精米までし ていただきました。75 kgのも ち米ができあがりました。12 月 10 日、いよいよ餅つきで す!



## 強く、やさしい心を育む~第1回チャレンジ集会~

2学期も残りひと月、令和7年もまもなく師走を迎えます。 気温がぐっと下がり、朝夕が冷え込んできたためか、風邪等で 体調を崩す子も出てきました。市内ではインフルエンザの感染 も拡大しています。本校では現在4名の罹患者がいます。連休 明け感染が拡大しないことを願います。ご家庭でも外出後はし っかりと手洗い、うがいをさせてください。

18日(火)に本年度第1回目のチャレンジ集会を開催しま した。総勢100名を越すチャレンジャーが出場しました。一



プ、歌、ピアノ、キャッチボール、バスケットボール、マジッ ク・・・・分野は問わず、自分が挑戦したいこと、みんなに披 露したいことにチャレンジします。うまくいく、うまくいかない は関係ありません。勇気を出してがんばろうとする強い気持ち、 それを見守るやさしい気持ちを育む集会です。本校の宝の取組で す。保護者の方も20名ほど参観されました。あたたかい、ほっ こりとする雰囲気を感じていただいたことと思います。次回、第 2回目は2月開催予定です!!!



## ~第2回学校保健委員会小中合同講演会より~

20日(木)長田小学校にて、小学5,6年生と長田中学校 全生徒及び保護者、教職員等を対象に、「生活習慣の重要性」 ~睡眠や食事、メディアが及ぼす脳への影響について~杉野伸 治氏による講演会を実施しました。

講演の中で以下のことを強調されていました。まずは私たち 大人の意識と行動が変わらなければなりません。

- ・現代社会はストレス大の社会であり、子どもも大きなスト レスを抱えている。
- ・そのストレスを軽減させ、自立して生きていく力の源になるのが「睡眠と食事」である。
- ・その「睡眠と食事」を阻害しているのがメディア使用である。
- ・子ども達には「がまんする力」を育て、「世界観」を広げてあげる。
- ・目標設定をし、そのために必要なことを実行させる。
- ・過保護、過干渉が子どもの自立の芽を摘む。
- ・失敗しても、うまくできてなくても、ダメ出しせず、次へのチャレンジ心を育てる。
- ・子どもは「今志向」大人は「未来志向」、一瞬の快楽で はなく、未来の幸せを追求する考え方に変換させる。
- ・わくわく感を18歳まで大切に育てる。

## 防災意識を高める~第2回避難訓練~

19日(水)本年度第2回目の避難訓練を実施しました。

今回は「地震」を想定した訓練でした。今回の訓練の中で感心したことがありました。授業中に 起きるという想定でしたので、子ども達は教室で学習をしていたのですが、2年生の3名の男の 子がたまたま、地震が起こり、校内放送が入った時に、トイレにいました。普通こんな時、子ど もは焦って教室に戻るのですが、この3名の子たちは、放送どおりにトイレの中で床に伏せ、頭



を守る姿勢をしてじっとしていました。災害が起こる時は、集 団とは限りません。教室とも限りません。そんな時に落ち着い て、考え、判断し行動できるか・・・そんな力を育む訓練や学 習の必要性を実感しました。一斉訓練の後、3、4年生は「訓 練その2 として、国立諫早青少年自然の家の方の指導を仰い で、「防災バックづくり」と「防災クイズラリー」に挑戦し、 災害から命を守ることについてさらに意識を高めました。



